

中野区議会だより

No. 190 平成16年(2004年)5月2日 編集・発行／中野区議会

〒164-8501 中野区中野4-8-1
電話 3228-5585 FAX 3228-5693
Eメール kugikaijimu@city.tokyo-nakano.lg.jp
ホームページ http://kugikai.city.nakano.tokyo.jp/



桜の道(中野通り)

第1回定例会

平成16年度予算を可決

一般会計予算は893億9600万円 前年比0.6%増

区議会は第1回定例会で、平成16年度予算を原案どおり可決したほか、「中野区安全で安心なまちづくりを推進する条例」、「指定管理者の指定について」などを可決しました。

第1回定例会は、2月19日から3月25日まで開かれました。

2月19日に区長の施政方針

説明を行い、23日から3日間、10人の議員が区政課題について、一般質問を行いました。

この定例会では、平成15年度補正予算、平成16年度当初予算など計33件の区長提出議案を審議しました。そのうち

「中野区公の施設に係る指定管理者の指定手続に関する条例」を修正可決し、その他31

件を原案どおり可決したほか、「中野区外部監査契約に基づく監査に関する条例」を継続審査としました。

さらに「レジ袋削減に関する事業を求める意見書」など4件の議員提出議案を審議し、そのうち3件を可決し、「中野区長の在任期間に関する条例」を継続審査としました。

陳情については、8件を採択し、11件を不採択としました。

議案・陳情に対する討論

議案・陳情の審査にあたり、次の議員が討論を行いました。

《議案》

中野区の公の施設に係る指定管理者の指定手続に関する条例

賛成討論

小堤 勇 (共産)

佐藤 ひろこ (市民)

反対討論

長沢 和彦 (共産)

指定管理者の指定について(2件)

賛成討論

斉藤 高輝 (公明)

佐藤 ひろこ (市民)

反対討論

長沢 和彦 (共産)

《陳情》

区立保育園運営委託実施計画の撤回、ならびに非常勤保育士の全員解雇撤回を求めることについて(2項・3項)

賛成討論

池田 一雄 (共産)

都市計画道路補助133号線(中杉通り)の鷺ノ宮駅以南、杉並区境までの事業化計画路線に反対することについて

賛成討論

池田 一雄 (共産)

プラスチック製容器包装回収事業の中止を求めることについて

賛成討論

むとう 有子 (無所属)

反対討論

むとう 有子 (無所属)

予算審議の状況

平成16年度の一般会計、用地特別会計、国民健康保険事業特別会計、老人保健医療特別会計、介護保険特別会計の各会計当初予算案は、全議員を構成員とする予算特別委員会に付託されました。

予算特別委員会では、全体会で総括質疑を行った後、5つの分科会に分かれて審査を行い、再び全体会で採決を行いました。

3月12日の本会議では、委員会で審査経過の報告の後、次の議員が討論を行いました。

賛成討論

岡本 いさお (公明)

篠 国昭 (自・民)

北原 奉昭 (T・自民)

酒井 たくや (民主)

はっとり 幸子 (市民)

反対討論

来住 和行 (共産)

むとう 有子 (無所属)

特別委員会委員の変更

3月25日付けで、きたこう秀文議員の所属委員会が、中野駅周辺・警察大学校等跡地整備特別委員会から、交通対策特別委員会になりました。

第1回臨時会開く

第1回臨時会は、4月1日に開かれ、区長提出の「中野区特別区税条例の一部を改正する条例」を審議、可決しました。

区議会議員選挙結果の更正決定

昨年4月の中野区議会議員選挙について、当選の効力に関する争訟が提起されていました。訴訟の結果、最下位当選者と次点者の得票数が同数となったため、公職選挙法

の規定により、3月18日に開催された選挙会で、次の議員の当選が確定しました。

吉原 宏 (よしはら ひろし)

所属会派 T・OKYO 自民党中野区議団

所属委員会 II 区民委員会

中野駅周辺・警察大学校等跡地整備特別委員会

住所 II 本町4-46-8

ファミール宮崎202

電話 (3380) 5063

中野区議会のテレビ放送が始まります。

(詳しくは4面をご覧ください)

選挙管理委員決まる

区議会は、2月19日の本会議で、3月2日に任期満了の選挙管理委員および同補充員の選挙を行い、次の方々を選出しました。任期は、平成20年3月2日までです。

選挙管理委員

西村孝雄(にしむら たかお)
小池 博(こいけ ひろし)
原島正一(はらしま まさかず)
小沢哲雄(おざわ てつお)

選挙管理委員補充員

横田 睦(よこた むつみ)
佐藤 博(さとう ひろし)
青山豊次(あおやま とよつぐ)
千賀靖之(せんが やすゆき)

主な掲載記事

区政をただす	2~4面
予算を問う	5~7面
可決した議案・意見書	7~8面
予算に対する各会派の見解	9面
陳情の審議結果	10面

第1回定例会 一般質問

区政をただす

無電柱化を積極的に進めよ



公明党議員団 大泉 正勝

防災対策やバリアフリー化

推進のため、電線類の地中化を推進すべきと思うがどうか。

区長 駅周辺のバリアフリーを総合的・一体的に推進する重点整備地区を検討している。無電柱化の制約条件や財政的課題を整理し、関係機関と調整を図りたい。

事業部制予算の財政効果は

区政の目標体系の再構築と経営資源の効果的な投入・活用を目指して事業部制を導入したが、①16年度予算編成での経済性、効率性、効果性から見た具体的成果は。②歳入確保の見通しがない事業への一般財源配当の保留や、予算執行管理への財政部門の助言を規定してはどうか。

区長 ①民間活力導入や職員配置・事業の見直しを徹底した。経費は抑制し、サービスを維持・向上させ、65の新規・拡充事業も予算化した。②歳入確保努力を義務付ける方法も、積極的に検討する。

生業資金を借り易い制度に

生業資金貸付制度を新しい



電柱の無い道路

成について、子育て支援策としての、有効性や方法などを検討している。

基本構想、10か年計画の中で、子育てをめぐる地域社会全般

の支援のあり方などを検討し、総合的な対策を盛り込みたい。

保育園委託化計画を示せ

委託化計画がないままの五月雨式な実施発表は、関係者の不安感を増幅させている。

①実際に子どもを預かる保育士への説明は行っているのか。②委託化計画を早期に提示する考えは。③運営方法は指定管理者制度によるのか。

区長 ①区長と職員の意見交換の時間を持つているが、さらに区の考え方について理解を深めてもらえよう努める。②16年度策定の次世代育成支援地域行動計画で示した

い。③民営化や指定管理者制度を考えている。

国全体が目指すべき方向をリードする子ども施策を

16年度策定する次世代育成支援地域行動計画に、子どもの医療費に関する施策は盛り込まれるのか、区長の大英断を願うがどうか。

区長 子ども医療費の助

財政再建策を

具体的な数値で説明せよ



自由民主党・民社クラブ 篠 国昭

区長は、施政方針説明の中で、家族のあり方に言及しており、高く評価できる。伝統的な家族観の復活により、教育・社会問題の多くは、解決する。16年度は、基本構想が策定される。今こそ、新たな中野のまちの姿や共通目標を区民と共有する必要がある。

しかし、16年度予算の区長の説明には、具体性がない。編成の視点は何か。職員削減の方法と、今後の職員数は、どう想定しているのか。

子どもを主人公とした家庭重視の保育行政を

男女共同参画社会の形成が声高に強調され、政府は、働く母親に視点を置いた少子化対策を進めている。しかし、子どもが小さいうちは、一緒に過ごしたいというのが、女性の自然な思いである。子どもが育つ基本単位は家庭である。その家庭に



おかあさんと公園で

置いた支援策こそ必要ではないか。少子化対策、子育て支援の将来展望は何か。

区長 家庭の子育て機能は、核家族化の進展

などにより、弱体化している。地域での子育て活動の育成や育児休業の促進などの取り組みを進めたい。

清掃事業に

区民の知恵を反映せよ

中野区では、町会をはじめ、区民の力を得て、清掃事業に前向きな取り組みを展開している。こうした努力が、清掃

職員数の削減や民営化などにつながると考えるか。

区長 今後、区民は、清掃事業に、重要な役割を果たすと考える。ごみゼロの戦

略づくりに理解を得たい。これにより、行政回収量は、減少できると考えている。

男女混合名簿問題に
勇敢な取り組みを

男女混合名簿採用は、行き過ぎたジェンダーフリー教育、性差否定教育につながる。採用結果の検証に、しっかりと耳を傾けるべきではないか。

教育長 男女平等の視点から混合名簿の採用を各校に働きかけている。採用は、各校の実態を踏まえ、校長が判断するものと認識している。

国や東京都に対し
確固たる態度を示せ



日本共産党議員団 岩永 しほ子

①憲法擁護・非核都市を宣言している区として、イラクへの自衛隊の派兵が憲法違反であることを明白にすべきでは。②「三位一体改革」の影響を、財政運営に適正に反映するとしているが、区民に転化する考えを改めるべきでは。③国の一般財源化にあわせ、都は公立保育園補助金の独自の上乗せを廃止することにした。一方的な補助金の削減を認めず、必要な財源を確保する姿勢をとるべきでは。

区長 ①国が法やしかるべき手続きにより、行っていることに、憲法違反かどうかを申し述



憲法擁護・非核都市宣言

福祉や区民施設の委託化・民営化を進めるなどとなっている。①社会的弱者をはじめ、区民への責任は。②保育園を指定管理者に委託し、保育料も引き上げるなど、未来を担う子ども達と子育て世代への責任は。

区長 ①まちづくりについては、将来の中野のまちをよりよいものにし、区民福祉を充実するために重要な課題が数多くあると考えている。予算が減った中でも、区民によりよいサービスを提供していくことを目指す。②将来にわたり安定的に保育サービスを提供し、拡充を図っていくには、民間でできるものは民間に任せ、財源確保のため適正な受益者負担が必要である。

学校選択制の早急な導入は再検討すべきである

2004年度、学校選択制の準備予算が計上されているが、早急に導入する理由はどこにもない。子どもに不安を与え、区民の合意が形成されていない限り、導入への再検討をすべきではないのか。

まちの活力を高め
豊かなまちづくりを



TOKYO自民党中野区議員団 伊東 しんじ

①にぎわいと環境の調和・共生のまちづくりに対し区長の考えは。その実現に向け、投資的な経費を確保し、まちの活力を高めることで、税に還流できる予算配分をすべきでは。②都市基盤である道路

整備についてどう考えるのか。区長 ①まちづくりにには、まちなぎわいと環境の調和が必要で、政策や投資の循環を通じ、まちの活力を高める視点も大切にしたい。②道路整備の推進のため地域の実情

中野区議会ホームページをご利用ください

中野区議会では、いち早く区民のみなさまへ情報をお届けするため、ホームページを開設しています。会議録、議員紹介、区議会からのお知らせなどがご覧いただけます。是非ご利用ください。

新しく「委員会資料」のページが追加され、各委員会に配付された資料がご覧いただけるようになりました。

中野区議会ホームページURL <http://kugikai.city.nakano.tokyo.jp/>

に相応した方策を検討したい。
住基カードの広汎な活用を

住民基本台帳カードの活用を図るうえで、①カードによる災害時の避難者情報登録や携帯電話にも対応した情報発信サービスについてどう考えるのか。②利便性やカードの普及の面から公共施設の予約図書館利用者カードや時間外の証明書自動交付などのサービスの拡充についてはどう考えているのか。

区長 ①標準的なシステムがあるので活用を検討したい。携帯電話でのサービスは可能性を探りたい。②区民ニーズに即した利便性の高い活用の方途を探りたい。

ごみの個別収集の拡充を

①集積所を巡ってのトラブル解消のため軽・小型自動車によるごみの収集、個別収集が今後の流れとなることが予想されるが、方策は講じているのか。②資源回収に際しての持ち去り行為に対しどのような対応策を考えているのか。

区議会を 傍聴して みませんか

傍聴は、議会活動に触れるもっとも身近な方法です。本会議や委員会の傍聴は、どなたでもできます。傍聴を希望される方は、会議の当日、区議会事務局(区役所議会棟3階)で傍聴の手続きをしてください。

- ★受け付けは会議開会の1時間前、入場は30分前からになります。本会議は定員100人(ただし、椅子席は先着80人)、委員会は定員15人です。
 - ★本会議場や委員会室への携帯電話の持ち込みは禁止となっています。お持ちの方は、事務局でお願いします。
- その他、傍聴についてのお問い合わせは、区議会事務局(電話3228-8870)まで。

区長 ①ごみゼロ実

現の有効な手段の一つに個別収集があると認識しており、具体的に検討したい。②資源回収は、集団回収の拡充が望ましいと考えており、条例による規制などの検討を行っている。

事業者による駅周辺の自転車駐車場の整備を

鉄道事業者が取り組んだ自転車駐車場整備はこれまで例があるのか。軌道敷や駅構内に余地があるにもかかわらず対策が講じられていないが、これでいいのか。また、民営自転車駐車場の支援も必要と思

うかどうか。

区長 事業者が関与した例は4駅ある。用地の提供などの要請を行ってきたが、より実効的な協力を得るべく、さらに強く要請したい。また、民営自転車駐車場の育成は、あらゆる可能性を追求したい。

シチズンズチャーター について

民主クラブ 酒井 たくや

厳しい行財政環境の中で、持続可能な行政運営を行うためには、「あれも、これも」ではなく、「あれか、これか」を厳しく選択し、その選択の

主体は市民でなければならぬ。市民と行政の約束制度「シチズンズチャーター」について区長の見解は。

区長 「シチズンズチャーター」は、行政と市民が互いに目指す目標の達成に向け、行政のあり方と市民の協力を約束するものである。昨年、区民の目標を区民に示し、成果により区政を管理する取り組みを行っている。市民への約束を示すという点では共通する発想のものと考えている。

区の清掃の責任を問う

区内の清掃工場建設計画がなくなった今、循環



2月に開催された耐震フォーラム

型社会を形成していくため、中野区からごみゼロを発信すると言っているが、①他区に任せっきりにするのはなく、自治体として何らかの責任を負うべきであると考えているがどうか。②古紙の行政回収を集団回収に移行し、プラスチックの分別収集を行うべきではないか。③プラスチックを圧縮し保管する施設をつくる考えはないか。

区長 ①ごみゼロの取り組みはごみの素成や流通のあり方、社会的な責任のあり方などさまざまな要素がある。全体的な戦略を構築し、取り組みを強化していきたい。②古紙回収は集団回収の拡大を考えており、容器包装プラスチックのリサイクル事業は、規模、期間を拡大して試行を行いたい。③容器包装プラスチックの収集、運搬、圧縮、保管は各区が取り組むべき事業であり、課題である。

耐震改修支援制度は実効性があるのか

新たに耐震改修支援制度が予定されているが、平成9年から実施された耐震診断助成は3年間で17件しか利用され

なかった。また、区内には地震の際、非常に危険といわれる昭和45年以前の木造家屋が約3万棟もあるが、実施予定の簡易耐震診断は300件しかない。実効性に課題が残ると思うが、今後の展開は。

区民参加手続を明確にした 自治基本条例策定を

無所属の会 奥田 けんじ



中野サンプラザ

①指定管理者制度導入過程、管理者指定の先議などの強引な進め方を見ると、区長は、区民の声を十分受け止めていないと思えない。審議会、説明会など行っているが、アライバづくりで終わっていないか。②自治基本条例策定にあたり、当事者の参加を確保し、計画確定の手続を明確にせよ。

区長 ①対話集会、区民説明会、保護者説明会など計17回行い、導入にあたっては十分な説明責任を果たしてきた。先議については、万全な引継ぎを行う必要からお願した。②自治基本条例では、区の計画立案、策定、実施などへの区民参加の基本的な考え方や手続を定め、当事者も含めた各層からの意見を広く反映する仕組みにしていきたい。

区民の参加と意思に基づき運営されるまちづくりを

区はさまざまな模索をしながら、施策を実施しているが、一番大切な区民の思いが、区

区長 今回は、10年間を区切りとして、区独自の耐震相談から改修まで、総合的に支援できる制度を目指している。実効性は格段に上がるものと考えている。



政に反映されていない。①区

長は中野のよさをどう捉えているか、そして、そのよさをもっとアピールし、自治体としての差別化を図るべきではないか。②区長は就任以来、区民参加による区政運営を行ってきたか。そのことに対して、客観性をもった評価は可能か。

区長 ①利便性が高く、自由で個性あふれる雰囲気、進取の気風を持っている。今後もそのよさを将来に向けて伸ばしていきたい。②区民の生の声を聞く対話集会を実施している。また、区民の意見表明の機会と決定の説明責任を保障するパブリックコメント制度を導入した。今後、自

治基本条例の制定により、さらに明確にしていきたい。

区長 ①区は出資額の限度でリスクを負うが、金利変動や事業運営のリスクは新会社が負うことになる。②出資が過半数なので決算などの議会報告が義務付けられている。また、区民への情報公開についても積極的に行うべきだと思

自治基本条例制定を契機に 新しい自治への意識改革を

市民自治 はっとり 幸子



全国の自治体で多様な自治基本条例が制定されているが、区長は、なぜ、今、中野に自治基本条例が必要と考えているのか。基本構想を描く区民ワークショップでは、自己決定、自己責任への意識改革など新しい自治のあり方が提言された。条例の制定過程を透明にし、より広範な区民と議論できるような区民参加のしくみが必要ではないか。

区長 今、社会全体の大きな改革の流れの中で、地域住民による自己決定、自己統治の自治体運営が求められている。自治体運営について、その理念や手続を定める必要があると考えた。自治基本条例の検討は、基本構想でのさまざまな区民論議を土台として行うもので、区民対話集会、区報、ホームページなどで幅広く区民の意見を聞いて検討していく。

区長 ごみ減量を実現するためには、区民の主体的な取り組みが不可欠である。ごみ処理やリサイクル事業のあり方について区民と共に考えるため、清掃・リサイクルに



高齢者会館

かかる経費についてわかりやすく公表していく。

介護保険の改善に向けて

介護保険を利用者にとって使いやすい、持続可能な安定した制度にするための取り組みが求められる。①在宅介護支援センターにどのような問題があるか、保険者として検証すべきではないか。②高齢者に対する介護予防として、地域の在宅介護支援センター・保健師・民生委員がチームを組み、きめ細かな働きかけをしてはどうか。

区長 ①9カ所の在宅介護支援センターとの会議を毎月開催し、問題点の報告を受け、協議している。今後は、利用者の満足度や事業効果なども検証する。②健康福祉都市宣言を行い、高齢者会館を健康づくりの施設運営に転換し、介護予防のメニューを増やすほか、関係者の連携強化に努めるなど介護予防の取り組みを強化していく。

回収に出された資源の持ち去り行為を防げ



公明党議員団 こしみず 敏明

最近、資源回収事業に出された古新聞などの持ち去り行為が、地域で問題となっており、区民からの苦情も多く寄せられている。①他区では、清掃事業にかかわる条例を改正し、持ち去り行為に各区独自の対処を始めた事例もある。中野区でも、条例を改正してこの問題に取り組みべきではないか。②現在、行政と民間の両方で資源回収が行われているが、長期的には区民の集団回収にシフトしていくべきと考える。区としての中・長期の展望について聞きたい。

高齢者の居住安定確保を

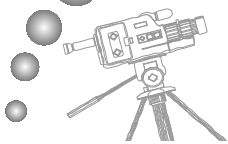
都の「あんしん入居制度」は利用料や預託料が高く、他区では、独自の高齢者等保証人代行制度や加入助成を開始する動きが出てきている。中野区でも、高齢者の居住安定

区長 ①集団回収については、所有権を明示するための標識旗やシートの貸出などを行ってきている。現在、この集団回収も視野に入れた条例による規制について検討



河川拡幅工事中

中野区議会のテレビ放送が始まります。



中野区議会では、開かれた議会の実現に向け、6月開催予定の第2回定例会から、CTN（シティテレビ中野）で、議会のテレビ放送を開始します。内容は、各議員の一般質問の模様などの録画放送です。

詳しい放送予定などは、決まり次第、区議会ホームページの「区議会からのお知らせ」の中に掲載します。

お問い合わせは、区議会事務局（電話3228-5585）まで。

是非ご覧下さい。

確保について取り組みを強化すべきではないか。また、入居保証制度についても検討すべきではないか。

区長 これからの区政にとつて大きな課題と考えている。入居を敬遠されがちなりとり暮らし高齢者に対し、民間会社の保証人代行制度や都の制度などの活用も含め、他区の取り組み状況や区の現状を分析しながら取り組みを検討していきたい。

集中豪雨対策について

①江古田川沿いの江古田一丁目の新青梅街道付近では、

集中豪雨のたびに浸水を繰り返しているが、どう対応してきたのか。②CTNでテロップにより水位情報を提供しているが、更にタイムリーで充実した内容にしていくべきではないか。

区長 ①集中豪雨対策として、都と協力し、江古田公園の一部を使用した河川拡幅工事を実施している。また、下水道整備を要請し、第二妙正寺川幹線の整備を進めているところで、平成18年度頃に供用開始予定と聞いている。②見やすいものになるよう改善を図っていく。

治安対策を急げ

自由民主党・民社クラブ きたこう 秀文



中野区でも昨今、犯罪が増加している。いつ、被害にあらうか分からない空き巣や通り魔、外国人犯罪などに対して、行政も区民も、治安に強い意識を持つことが必要である。

①区は「安全で安心なまちづくりを推進する条例」をつくる予定とのことだが、基本的な考え方は。②区役所の車や自転車に「パトロール中」のステッカーを貼ってはどうか。また、郵便配達のパイクにも貼ってもらうよう郵便局に協力を求めているどうか。

区長 ①条例案は区、区民、事業者の基本的な役割を定め、犯罪発生状況の周知、区民の地域活動や組織づくりの支援、空き家の持ち主への適切な管理を促す規定などを

とは災害時の食料供給について協定を結んでおり、鉄道事業者とも防災関係機関として連携を強めている。今後、コンビニなどとの協定や、その他の事業者との協力体制を強化し、被災者の支援体制の充実を図っていきたい。

②今後も、消防団活動のPRには区報やホームページを更に活用していく。

資源の持ち去りを許すな

区民が集めた資源を回収場所から持ち去る業者がいると聞いているが、①集団回収、行政回収についての苦情や相談件数は年間どのくらいか。



総合防災訓練

②資源持ち去り禁止条例を制定する考えはないか。

区長 ①集団回収については年間10件ほど、行政回収は月に10件ほどである。②現在、集団回収を視野に入れた条例による規制を検討しているところである。

警大等跡地は緑豊かな防災公園に

日本共産党議員団 かせ 次郎



中野駅周辺まちづくりについては、調査検討委員会の中では議論が尽くされず、意見もまとまっていない状況である。①3月の検討委員会による計画案案まとめは、事務局主導で強引に行うことなく、延期すべきでは。②警察大学校等移転跡地土地利用転換計画案にあるように、防災公園を中心におき、既存樹林を生かした緑豊かな計画になるよう再検討すべきでは。③新会社を設立して行う中野サンプラザ取得は、再開発の種地づくりである。再開発事業の破綻する事例が全国で発生している現在、取得は中止すべきではないか。

区長 ①区民の意見や要望を参考に、調査検討委員会が3月末までにまとめた計画案を踏まえ、04年度、区の計画案を策定する予定である。素案のまとめを延期する考えはない。②都および杉並区の了解も受け、警察病院および区画街路以外、防災公園を含めた見直しを行っている。既存の緑に配慮し、不燃化建築物に囲まれたオープンスペースを十分に確保しながら、防災空間として機能するものをつくっていきたい。③中野サンプラザの立地は、今後のまちづくりの中で極めて重要である。中野の



警察大学校等跡地

平成16年度

予算を問う

総括質疑 予算特別委員会

予算特別委員会では、3月1日から4日の4日間、13人の議員が予算全般について、質疑を行いました。質疑の項目と主な内容は次のとおりです。

高倉 良生
(公明)

1 16年度予算編成と区政の課題について
2 安全対策について
3 介護保険について
4 教育行政について

池田 一雄
(共産)

1 施政方針説明について
2 教育委員の公募について
3 警察大学校等跡地利用計画とまちづくりについて
4 福祉タクシースター問題について
5 保育園指定管理者制度と保育労働について
6 パソコンの契約問題について
7 エイズ対策について
8 耐震性確保事業について

佐伯 利昭
(民主)

1 中野サンプラザの取得について
2 シチズンズチャーター制度について
3 保養施設(シエモア仙石)について
4 中野区の清掃責任について
5 文化、スポーツ施設の運営について
6 その他

佐藤 ひろこ
(市民)

1 ワンストップの保健福祉相談について
2 使いやすい支援費制度について
3 (仮称)権利擁護センターについて
4 特別支援教育について
5 人間関係づくりの学習について
6 区民の声を受けとめる区政について
7 わかりやすく納得できる区政の目標と成果について

小串 まさのり
(自・民)

1 ホームレスの問題について
2 子育てと教育の問題について
3 区長の政治姿勢について

小堤 勇
(共産)

1 商店街支援について
2 子供虐待防止について
3 ミニバスについて

大内 しんご
(自・民)

1 野方駅北口改札調査について
2 住民票取得について
3 幼稚園等の公私間格差について
4 外郭団体等の今後について
5 教育委員選任について
6 その他

伊藤 正信
(自・民)

1 区長の施政方針説明について
2 財政について
3 地域防災と危機管理体制について
4 治安対策、安全・安心まちづくりについて
5 教育問題学校選択制について
6 自転車対策について
7 その他

高橋 ちあき
(丁自民)

1 区財政における資産と負債について
2 教育行政における競争と共生について
3 子ども家庭部の目的及び教育委員会とのかわり
4 区長室のあり方及び存在について
5 その他

むとう 有子
(無所属)

1 平和施策の推進について
2 (仮称)安全で安心なまちづくりを推進する条例について
3 身の回りの有害化学物質を削減することについて
4 精神障がい者の地域生活支援について
5 清掃事業について

久保 りか
(公明)

1 上鷺宮地域のバス路線設置について
2 中杉通りについて
3 駐輪対策について
4 次世代育成支援地域行動計画について
5 介護予防について
6 元気でねつとについて
7 教育ビジョンについて
8 区民サービスについて
9 協働の推進について
10 その他

近藤 さえ子
(無所属)

1 区のビジョンを反映した予算配分について
2 公教育の充実について
3 デマンド交通システムについて
4 その他

市川 みのもる
(丁自民)

1 「吸い殻空き缶等の散乱防止に関する条例」について
2 中野駅周辺整備について

精神障害者施策の充実について

精神障害者施策の充実について

精神障害者施策の充実について

精神障害者施策の充実について

行政 財政

行政改革

伊藤(正)議員 区は事業部制の導入や、組織のフラット化に向けた改革を急テンポで進めているが、職員の理解は十分に進んでいるのか。職員の意識改革が追いつかなければ、区民対応に影響が出る

ことが危惧されるがどうか。
答 改革は簡単に進むものではないが、長の決意と不断の取り組みが必要と考えている。区長と職員が直接話をす

用地管理

高橋議員 区の資産である公有財産と、区の負債である起債並びにその償還の関係に伴い、南部区民ホールの土地など、区が所有している用地を適正に管理するために、専門的で戦略的なポストを置いてはどうか。

高橋議員 区は事業部制の導入や、組織のフラット化に向けた改革を急テンポで進めているが、職員の理解は十分に進んでいるのか。職員の意識改革が追いつかなければ、区民対応に影響が出る

る機会を数多く設けるなど、職員への十分な情報提供に努め、職員の意識改革を進めていきたい。

答 これまでの仕事の枠組みでは、十分な対応ができていないと思うので、専門的知識を持った職員を育成して対応していきたい。

子ども家庭部

高橋議員 子ども家庭部が新たに設置されるが、子どもに対しての大事な役割が子ども家庭部の中になかったり、教育委員会が扱うべきことが子ども家庭部であったり、理解できない。①子ども家庭部の設置目的は何か。②教育委員会とのかわりは、どうなるのか。

近藤議員 持続可能な中野区をつくるためには、区財政の実態を把握し、区民に示して理解を得ることが大事だ。土地開発公社保有地は簿価で112億円とされ、中央五丁目

目の保有地を区が9億円で買取る。①地域のなかで、子どもたちを支援する施策を総合的に展開し、子どもの尊厳が尊重されるようにするためである。②子ども家庭部と教育委員会との間で協議の場を設置し、さまざまな場面で連携し、協力していく必要がある。

用地の買い取り

伊藤(正)議員 地震やテロなどの被害を最小限にとどめるには、設備などハードの充実と同時に、組織的な防災行動力といったソフト面の充実が必要である。区は組織の再編に取り組んでいるが、危

買取る予定だが、時価での評価額はいくらか。
答 公社との協定により簿価で買い取るため、時価評価はしていない。現在、区有地

危機管理体制

伊藤(正)議員 地震やテロなどの被害を最小限にとどめるには、設備などハードの充実と同時に、組織的な防災行動力といったソフト面の充実が必要である。区は組織の再編に取り組んでいるが、危

のあり方を検討しており、方針が決定すれば、売却処分する用地については、時価で評価をすることになる。

防 災

子ども

池田議員 ①保育士が専門性を身につけることは安定し

保育のあるべき姿

た保育園運営に重要である。保育の知的熟練性を高めることは、保育の質の向上に欠かせないもので、長い経験の中

身の災害に対する組織整備はどうなっているのか。
答 区民生活に大きな影響を及ぼす災害やテロ、事故に的確に対処できるよう、危機管理対策会議を設置している。被害の拡大を防ぎ、終結させるため、より機動的・効果的に行動ができるよう検討を進めている。

で培われ継承されるものである。それには、保育士としての安定した雇用条件が必要不可欠である。今度委託する企業保育園では、保育士は1年契約の短期雇用で保育の質を高められないのではないかと。

い。②区の判断である。子どもの虐待防止

小堤議員 虐待防止の基本

は子ども家庭支援センターが核となり、地域とつながって虐待防止の啓発や相談、子育て支援などの役割を果たすこととであり、横のつながりで虐待防止を進めるべきと考えるが、区の見解は。

答 すべての子ども関係機関のネットワークによる対応が重要であり、学校や保育園、児童相談所や民生・児童委員など、連携して適切な対応に努めていきたい。

答 ①一定の経験は必要だが、必ずしも年齢の高い保育士がすぐれているとは言えない。

高倉議員 国や都でも重要な施策となっている介護予防のメニュー調査・研究事業への取り組みを区でも開始した検討にあたり、転倒予防プログラム、地域型痴呆予防、高齢者筋力向上、音楽療法などを取り入れる考えはあるか。

答 16年度から保健福祉部所管になる高齢者会館で骨密度相談を含む転倒予防教室を行うなど、介護予防の観点から積極的に取り組みたい。また、さまざまな介護予防メニューを取り入れられるよう検討していきたい。

保健・福祉

介護予防メニュー

施設があっても他区の施設なので利用できないという状況があることを、何とかしようという考えはないのか。

答 警署、上鷺宮地域において、不便で遠いという理由で、利用を控えている方々がいることは承知している。今後、隣接区などの施設が近くにある場合、利用できるかどうか、具体的に可能性を追求していきたい。

精神障がい者支援

むとう議員 ①精神障がい者の就労機会や職種拡大に向け、身体介護ができる2級ヘルパーの資格取得への支援は。

②単身で生活が困難な精神障がい者の地域社会での自立を推進するため、2カ所目のグループホームの早期開設に向け取り組むべきではないか。

答 ①3級資格をまず取得

してもらい、その後は2級が必要かどうかの状況を見極めながら検討してまいりたい。

②できるだけ早く開設できるよう努めていきたい。

使いやすい支援費制度

佐藤議員 開始2年目を迎える支援費制度の施策の目標を、制度情報の提供に置くのではなく、さらに利用者の立場に踏み込んで、必要十分なサービスを迅速に提供することに置くべきではないか。

答 現在も支給決定に際しては、必要量を判断して行っているが、利用者の満足という視点も含めて、制度の普及啓発および相談事業の目標設定を工夫していきたい。

権利擁護センター

佐藤議員 福祉サービスに多様な民間事業者の参入が見込まれる中、社会福祉協議会が開設する権利擁護センターは、当事者間のトラブル解決のための調整役を担うべきと考える。その役割に加えて、区は行政責任として、区民が不当な扱いを受けたときの総合的苦情処理システムを用意すべきと考えるがどうか。

答 権利擁護センター自体が総合的な苦情対応機関として機能するとともに、事業者協議会を設置し、参入事業者に参加を促す。行政としては、法体系の中の指導権限を生かし適切に指導していきたい。

環境・建設

警大等跡地利用

池田議員 警察大学校等跡地利用計画素案について、十分な検討や区民議論がされないままにまとめられようとしているが、なぜ区は、計画づくりを急ぐのか。13年度に策定した土地利用転換計画案にある4ヘクタールの防災公園は確保すべきではないか。

答 施設の移転から3年近く経過しており、良好なまちの実現に向けて早期に計画策定が必要と考えている。不燃建造物で囲まれた安全性の高い空間が必要と考えており、防災機能は十分に確保したい。

有害化学物質

むとう議員 合成洗剤や殺虫剤、漂白剤、除草剤など多くの有害化学物質が生活の中で使用され、中野区の学校でもシックススクールが問題となっている。国は、化学物質把握管理促進法を制定し、2002年からは化学物質の排出量と移動量を情報公開した。区民の命と健康を守るため、この法律による情報公開を活用すべきではないか。

答 現在、区としてこの法律に基づいた情報公開請求などはしていないが、今後、活用について考えていきたい。

上鷺宮地域のバス路線設置

久保議員 上鷺宮地域から中野駅周辺へのバス路線の新設は、長年にわたる地域要望

である。区の認識は、どうか。また、平成16年度は、バス・タクシー事業者による運行調査が予算化されているが、目的は何か。当面は、バスの大きさはこだわらず、警察病院などの警大等跡地施設や中野駅へ向かう新青梅街道のバス路線を開設してはどうか。

答 区北部から中野駅周辺への交通路は懸案事項だ。今年度中には、一定のめどをつけたい。調査費は路線検討のため計上した。路線の検討は、多様な視点で行いたい。

中杉通りについて

久保議員 都道補助133号線が完成すれば、現在の中杉通りと合わせ、2本の道路ができることになる。安心して歩いて暮らせるまちづくりのため、133号線完成後の現道を、車椅子や子ども連れの歩行者が利用できる、緑の散策道路や休みながら歩けるユニバーサルデザインの道路として、整備してはどうか。

答 新道と現道の機能を分担させる提案は、意義あるものと受け止める。今後、現道を、新道の整備計画と合わせ、安心して歩ける空間と位置付けるなど、十分検討したい。

ミニバス

小堤議員 区内の交通不便地域である上鷺宮、鷺宮地域から中野駅周辺への交通線新設は、高齢化社会への対応として、避けることはできない。

高齢者や障害者が利用可能な交通を整備することは、介護や医療費の削減など社会全体の便益になる。早急に整備が必要と考えるが区の見解は。

答 現在までにバスやワゴンタクシーの運行を検討してきたが、平成16年度中には是非、めどをつけたい。

ポイ捨て防止条例

市川議員 条例を改正し、歩行中喫煙を規制する動きがあるが、環境美化を中心に進めるべきだ。喫煙場所を設けて、分煙を行う方式による歩行中喫煙規制は考えているか。

答 中野駅周辺を禁煙地区にする場合、喫煙場所の設置についても検討していきたい。

警大等跡地の公園整備

市川議員 ①警大等跡地に区が4ヘクタールまたは10ヘクタールの公園整備を行う場合、取得費用と維持管理費用はどのくらいか。②区が公園用地を直接取得することは、費用面から非常に難しい。跡地を民間企業が取得し、開発者負担として公園を整備する場合、どのくらいの広さを求めることができるのか。

答 ①4ヘクタールの場合、取得・整備費が109億円以上、年間維持管理費が6000万円程度、また、10ヘクタールだと取得費・整備費が320億円以上、年間維持管理費が1億3000万円以上と想定される。②通常、土地区画整理法、都市計画法に基づく公園整備の場合、開発対象面積の3%、区画整理事業の

場合は定住人口一人当たり3㎡が基準である。

区役所庁舎の建て替え

市川議員 サンプラザ取得後、当初の運営とされる10年が経過したとき、区役所庁舎は築50年になり建て替え時期に入る。サンプラザの将来の活用を考えれば、区役所庁舎との一体的な整備が重要である。まちづくりの観点から、サンプラザと区役所のある用地の将来的な活用を考えると、区役所庁舎の望ましい配置場所はどこか。

答 中野駅周辺の回遊性を高めることから、警大等跡地内、または、隣接するところへの再配置が望ましい。

デマンド交通システム

近藤議員 交通不便な地域にコミュニティバスが望まれている。多額の経費が課題だが、予算がないから何もしないのではなく、少ない経費でいかに交通弱者の足を確保し、区民が暮らしやすくなるかを考えるべきだ。タクシーを利用した乗り合い交通システムであるデマンド交通システムを導入を検討してはどうか。

答 デマンド交通システムは、国土交通省が平成13年度

からモデル事業を実施しているが、現段階では各事例の評価は定まっておらず、さらに研究が必要と考える。

野方駅北口開設調査費

大内議員 平成16年度予算では、野方駅北口開設調査費として100万円が予算措置された。野方に住む私たちにとっては、大きな前進と考えるが、具体的な使途は何か。

答 既存駅舎との取り付けの可能性や整備手法を、専門的な見地から検討を加えるための調査委託経費を計上したものである。

野方駅北口開設

大内議員 野方駅に関しては北口開設やバリアフリー化など、第2回定例会、第3回定例会の質問の中でも強く求めてきた。開設には地域の合意が必要となるが、地域の中に入って話し合いを進める考えはあるか。また一刻も早い設置に向けた意気込みは。

答 地域との協議を行うため、まずは具体的に調査・検討を行う考えである。野方駅北口開設は長年の課題であり、必要性は十分に認識している。着実に改札口の設置を目指したい。

教育

学校緑化・環境教育

高倉議員 校庭にあんずや柿など実のなる木を植樹すること、子どもたちが四季を感じ、命を感じることができ

る。環境教育の格好の材料として取り組む考えはないか。また、校庭の芝生化は、整備維持コストが問題になると思うが、土壌の工夫、芝の混植などコストダウンの方法を研

究し、実現に向けた努力をしていく考えはないか。

答 実のなる木の植樹については、既に実施している。今後も、都の苗木生産供給事業などを活用しながら、緑化に努めたい。また、芝生化についても、研究を重ね、方向性を検討していきたい。

学校選択制

高橋議員

教育委員会は、学校配置の見直しを行う場合、望ましい学校規模を確保して、当該学校の教育内容の一層の充実が図られるように配慮するとしている。一方で、学校選択制は、指定校の変更が弾力的に行われていることを念頭に置き、慎重に検討するとしている。この考えからすると、適正規模・適正配置から先に取り組むべきではないかなぜ、学校選択制と同時並行させるのか。

答 議論は同時に行っているが、学校選択制については、学校再編の案を示したうえで、導入する考えである。

幼保一元化

小串議員

①今後の幼児教育については、保育園、幼稚園、幼保一元施設の三通りで考えるべきだが、区の見解はどうか。②私立幼稚園の幼保一元化にあたり、教員の保育士資格取得や施設改善について、区が支援できないか。

答 ①今回の組織改正で子ども家庭部を設置し、きちんとした視点で、総合的に検討・推進していく。②個人がとる国家資格は、本来的には自己負担と考える。施設整備費は、現在の都の私学助成事業には項目がないが、今後、何らかの支援が必要になる場合もあると考える。

心の教室相談員

小串議員

①16年度、全小中学校に配置される心の教室相談員に対し、教師の役割を含め、どんな効果を期待するか。②スクールカウンセラーの配置についてはどう考えるか。

答 ①15年度は3校で試行し、効果が出ている。問題解決

中野区議会は、虚礼等の廃止を決議しています

贈らない

求めない

受け取らない

《虚礼等廃止の主な事項》

- 時候の挨拶状の送付
- 中元、歳暮等の贈答
- 慶事、弔事についての廃止事項

- ① 祝儀、香典、供花の贈与
- ② 祝電、弔電等の発送

- 病気等の見舞における金品等の贈与
 - 新聞、雑誌、名簿、掲示板等への広告
 - 各種行事、各種団体に対する寄付・カンパ、祝儀、祝電、金品等の贈与等
- ※本人または配偶者が出席する場合は、会費相当額を限度とする。

決の中心的な役割を担うのは教師だが、相談員には、問題の早期発見や適切な情報提供などにより、解決の糸口を見つめるなどの役割を期待している。②人数や経費の面で、現段階では小学校への配置は難しい状況である。

公教育の充実

近藤議員

学校選択制の予算にパンフレット印刷費があるが、いくら立派なパンフレットを作っても、そこに通っている子どもたちが生き生きとしていなければ、保護者はその学校を選ばないのではないか。中野区の学校はどこに行っても良い学校だという学校づくりに力を入れるべきだ。

答 各学校が取り組んでいる教育内容、教育方針、どういう子どもに育てたいのかといったことを理解していただくことが必要と考え、学校案内

区政一般

子ども・高齢者の安全対策

高倉議員

区は、区立小・中学校および地域団体に対して、約2万個の防犯ブザーを配布する。単価も安いので、高齢者にも配布することはできないか。また、地域センターや高齢者会館などに防犯コーナーを設置できないか。

答 子どもたちの使用状況などを検証しながら、高齢者への配布についても検討したい。また、スペースを工夫して防犯情報やグッズの展示などを考えていきたい。

内を発行する予定である。

幼稚園の公私立間格差解消

大内議員

幼稚園児1人に対する区の支出は、区立幼稚園で63万7千円、私立幼稚園で11万4千円と、年間約50万円の差があり、私立幼稚園児の保護者には不公平感が強い。保護者負担額の差はどれくらいか。公私格差の是正を進めることが必要と思うが区の考えはどうか。

答 私立幼稚園等入園料補助や保護者補助を差し引いても、入園料が約6万円、年間保育料で約8万1千円、私立の保護者の負担が大きくなっている。公私格差の解消は今後の大きな課題と認識しており、子ども施策の総合的な推進の中で、負担のあり方を検討したい。また、16年度に行う区の手数料などの見直しでも格差解消に努力したい。

入札方法の改善

池田議員

物品の入札にあたって、事前に資格要件を調査し、要件に合致した業者がすべて参加出来るような入札の仕組みを検討すべきでは。②制限付一般競争入札において、条件を付すことは可能と考えるので、今後の課題として検討したい。

中野サンプラザ

佐伯議員

中野サンプラザを取得する株式会社代表取締役には、民間人ではなく、区長自らが就任すべきではないか。区民に対して経営責任を明確に示すと同時に、会社に対する関与を有利な立場で続けていくためにも、必要なことではないか。

答 区民の財産である2億円を投資しているという最大の株主として、会社が経営を誤らないように監視することが区長としての責任であるので、経営陣に入る考えはない。

区民からの要望・苦情

伊藤(正)議員

凶悪事件や窃盗事件が頻発し、区民は不安な気持ちになっている。今回、安全・安心まちづくり条例が提案されているが、地域で安全・安心に暮らすためには、住民・行政・警察が連携し、防犯活動にかかわることが必要と思うがどうか。

答 日ごろから、警察署やさまざまな区民団体との連携を心がけている。条例制定を機に、さらに取り組みを強めていきたい。

くことは必要であると考えている。顧客満足度向上という観点からも、仕事の進め方を見直していく。

生活安全条例

むとう議員

相互監視社会化、密告社会化など市民が警察活動の担い手になるといった特徴を持つ警察国家化が進み、生活安全条例もその一環である。これは憲法が保障するプライバシー権や表現の自由などを縮減し、憲法上看過できない問題を抱えている。条例化するのなら、兵庫県のように、震災の被害の中で見いだした共生やバリアフリーなどの人間観の視点から条例づくりをすべきではないか。

答 安心安全なまちづくりを推進するため、ご提案の視点を持って、生活安全条例の制定に取り組んでいきたい。

市民参加型の行政評価

佐藤議員

目標と成果指標の明示された予算案、目標にあわせた組織編成など、区の取り組みは評価する。区民が行政を評価でき、区民満足を実現できる参加型の行政評価を目指す工夫、区民の意見を求める仕組みを考えているか。

答 行政評価は、区民の視点で区の仕事を直すものであり、多くの区民が評価に関心を持てるものであることが重要である。評価指標に区民満足度を入れるなど、わかりやすいものにするために、外部評価委員の意見、指摘に謙虚に耳を傾け、さらに改善の努力をしていく。

区民との協働の推進

久保議員

NPOへの財政支援は、重要な課題である。区民が、支援したい事業に、直接、寄付できる市民バンクを設置し、基金を設けてはどうか。その際、寄付を行う区民には、所得税の控除など、優遇策を設けてはどうか。

答 NPOへの財政支援の重要性は認識している。区民や企業の寄付を原資とし、活用するのは、有効な仕組みと考える。区に直接寄付する場合は、住民税の控除が可能だ。

ホームレス対策

小串議員

①公園のホームレス対策が進んでいないことについて、どう認識しているか。②ホームレス解消低額アパートとして、都営住宅や民間アパートの利用方向が示されたが、予想される近隣住民とのトラブルへの対応は。

答 ①公共施設の管理者として、福祉部門や地域、警察

第1回定例会

可決した議案

●平成15年度中野区一般会計補正予算

歳入歳出予算からそれぞれ31億667万円を減額し、予算の合計額は863億9766万5千円となりました。

●平成15年度中野区用地特別会計補正予算

歳入歳出予算にそれぞれ41億1600万円を追加し、予

などとの連携を図り、迷惑行為の是正と適正な管理に努めていく。②今後、都区間で事業の詳細を協議する際に、具体的に詰めていきたい。

商店街支援

小堤議員

地域経済を支えてきた商店街、中小業者が未曾有の危機にある中、個々の商店や商店街の努力とともに、行政の支援が求められている。①空き店舗対策については、生鮮三品や惣菜屋などがそろった便利な商店街になるよう、商店街の活性化には単年度ではなく、長期的な支援が必要と考えるが見解は。

答 ①商店街からの要望があれば、空き店舗活用事業を実施する中で考えていきたい。②平成16年度予算において、元気を出せ商店街事業は大幅な増額をした。各商店街の事業活動の成果を検証しながら、長期的な支援のあり方を検討していきたい。

算の合計額は49億1900万円となりました。

●平成15年度中野区国民健康保険事業特別会計補正予算

歳入歳出予算にそれぞれ6億3562万7千円を追加し、予算の合計額は270億6462万7千円となりました。

●平成15年度中野区老人保健医療特別会計補正予算

歳入歳出予算からそれぞれ14億2000万円を減額し、

意見の分かれた案件（第1回定例会・第1回臨時会）										
【○：賛成　×：反対　―：退席】										
件 名	会 派 名	公 明	自・民	共 産	T自民	民 主 党	無 所 属	市 民		結 果
第1回定例会										
区長提出議案										
平成16年度中野区一般会計予算		○	○	×	○	○	×	○		可決
平成16年度中野区国民健康保険事業特別会計予算		○	○	×	○	○	○	×	○	可決
中野区安全で安心なまちづくりを推進する条例		○	○	×	○	○	×	×	―	可決
中野区国民健康保険条例の一部を改正する条例		○	○	×	○	○	×	○		可決
中野区保育所条例の一部を改正する条例		○	○	×	○	○	○	×	○	可決
中野区児童福祉施設条例の一部を改正する条例		○	○	×	○	○	○	○		可決
指定管理者の指定について（宮園保育園）		○	○	×	○	○	×	○		可決
指定管理者の指定について（宮の台保育園）		○	○	×	○	○	×	○		可決
陳 情										
(15)第52号陳情 本会議等における議員の一般質問等について		×	×	○	×	×	○	○		不採択
(15)第53号陳情 区立保育園運営委託実施計画の撤回、ならびに非常勤保育士の全員解雇撤回を求めることについて（2項）		×	×	○	×	×	○	―		不採択
(15)第53号陳情 区立保育園運営委託実施計画の撤回、ならびに非常勤保育士の全員解雇撤回を求めることについて（3項）		×	×	○	×	×	○	○		不採択
(16)第2号陳情 区立宮の台保育園の「指定管理者制度による区立保育園の運営委託」の延期と、委託実施後の職員の引継ぎ期間の延長を求めることについて（2項）		×	×	○	×	×	○	×		不採択
(16)第4号陳情 都市計画道路補助133号線（中杉通り）の鷲ノ宮駅以南、杉並区境までの事業化計画路線に反対することについて		×	×	○	×	×	○	×		不採択
(16)第12号陳情 プラスチック製容器包装回収事業の中止を求めることについて		×	×	○	×	×	○	○	―	不採択
(16)第15号陳情 中野区指定保護樹林第9号を保護し都市計画道路補助133号線の事業化を見直すことについて（1項）		×	×	○	×	×	○	×		不採択
(16)第17号陳情 地域図書館を大切にしたい区立図書館の運営について（1項）		×	×	○	×	×	×	×		不採択
(16)第17号陳情 地域図書館を大切にしたい区立図書館の運営について（2項）		○	×	○	×	○	○	○		採択
第1回臨時会										
区長提出議案										
中野区特別区税条例の一部を改正する条例		○	○	×	○	○	○	○		可決

会派の略称

公明：公明党議員団、
共産：日本共産党議員団、
民主ク：民主クラブ、

自・民：自由民主党・民社クラブ
T自民：TOKYO自民党中野区議団
無所属：無所属の会、市民自治

予算の合計額は251億9635万9千円となりました。

●平成15年度中野区介護保険特別会計補正予算

歳入歳出予算からそれぞれ6億4068万3千円を減額し、予算の合計額は131億4065万7千円となりました。

●平成16年度中野区一般会計予算

●平成16年度中野区用地特別会計予算

●平成16年度中野区国民健康保険事業特別会計予算

●平成16年度中野区老人保健医療特別会計予算

●平成16年度中野区介護保険特別会計予算

（予算額は1面に掲載）

●中野区公の施設に係る指定管理者の指定手続に関する条例

指定管理者の指定の手続に
関し、募集および申請方法、
候補者の選定方法、選定基準
などを規定します。

●仮称中野区自治基本条例に
関する審議会条例

区長の附属機関として「仮
称中野区自治基本条例に関す
る審議会」を設置するにあた
り、所掌事項、構成、委員の
任期などを規定します。

●中野区職員定数条例の一部
を改正する条例

職員の定数を改め、現行の
定数より124人減となる2
896人とします。

●中野区長等の給料等の特例
に関する条例の一部を改正
する条例

特例期間を1年間延長しま
す。

●中野区安全で安心なまちづ
くりを推進する条例

区、区民、事業者などが相
互に連携した防犯への取り組
みを行うにあたって、基本と
なる事項を定めます。

●中野区事務手数料条例の一
部を改正する条例

都の条例改正に伴い、屋外
広告物許可申請手数料の額を
改定し、また、食品衛生法な
どの改正に伴い、規定を整備
します。

●中野区職員の特殊勤務手当
に関する条例の一部を改正
する条例

防疫等業務、放射線業務お
よび精神保健相談業務手当の
支給対象者に、保健福祉セン
ターに勤務する職員を加える
ため、規定を整備します。

●中野区立幼稚園教育職員の
給与等に関する特別措置に
関する条例の一部を改正す
る条例

国立および公立の義務教育
諸学校等の教育職員の給与等
に関する特別措置法の改正に
伴い、規定を整備します。

●中野区教育委員会教育長の
給料の特例に関する条例の
一部を改正する条例

特例期間を1年間延長しま
す。

●中野区における証明書の交
付等の請求及び届出に係る
本人確認等に関する条例

証明書の交付などの請求や
転出入などの届出の際に本人
確認を行い、また、閲覧によ
り知り得た情報の適正な管理
、閲覧請求の目的の範囲を超え
た利用の禁止などの規定を整
備します。

●中野区国民健康保険条例の
一部を改正する条例

一般被保険者にかかる基礎
賦課額および介護納付金賦課

額の保険料率などを改定する
とともに、保険料の減額の規
定および保険料に関する申告
の規定などを整備します。

●中野区保育所条例の一部を
改正する条例

みなみ保育園を民営化する
ため、廃止します。

●中野区母子生活支援施設条
例の一部を改正する条例

緊急かつ一時的な保護を要
する母子を対象とした、緊急
一時保護事業を実施するにあ
たり、規定の整備をします。

●中野区児童福祉施設条例の
一部を改正する条例

宮園乳児保育室を廃止しま
す。

●中野区保育の実施に関する
条例の一部を改正する条例

指定管理者が管理する保育
所において実施する2時間の
延長保育にかかる保育料を設
定するほか、1日単位の延長
保育の実施に伴い、日額の延
長保育料を新設します。

●指定管理者の指定について
宮園保育園の指定管理者を
指定します。

●指定管理者の指定について
宮の台保育園の指定管理者
を指定します。

●中野区立高齢者デイサービ
ス施設条例の一部を改正す
る条例

東中野高齢者在宅サービ
スセンターを民営化するため、
廃止します。

●中野区大気汚染障害者認定
審査会条例の一部を改正す
る条例

「大気汚染障害者認定審査
会」の所管を保健所から子ど
も家庭部に変更するにあたり、

規定を整備します。

●中野区道路占用料等徴収条
例の一部を改正する条例

土地の固定資産税評価額の
変更に伴い、占用料の額を改
定し、また、日本郵政公社法
などの制定に伴い、規定を整
備します。

●中野区立公園条例の一部を
改正する条例

土地の固定資産税評価額の
変更に伴い、区立公園の占用
料の額を改定し、また、都市
公園法の改正に伴い、規定を
整備します。

●中野区立妙正寺川公園条例
の一部を改正する条例

土地の固定資産税評価額の
変更に伴い、妙正寺川公園の
使用料の額を改定し、また、
都市公園法の改正に伴い、規
定を整備します。

●中野区議会委員会条例の一
部を改正する条例

中野区組織条例の改正に伴

い、常任委員会の所管を変更
します。

●江古田の森整備特別委員会
の調査事項等の変更につい
て

江古田の森整備特別委員会

江古田の森整備特別委員会
に変更します。

●意見書（1件：次項に掲載）

江古田の森整備特別委員会

第1回定例会 可決した意見書（要旨）

レジ袋削減に関する事業
を求める意見書

レジ袋削減は一区市の事業
者や各自自治体だけの取り組
みではなかなか進まないため、
東京都の施策で一斉に取り組
むことが必要です。

このため、次の事項につい
て東京都の施策に反映される
よう求めます。

1 都内の事業者に対し、有
料化などレジ袋削減の取り組
みを働きかけること。

2 都内全域で、消費者に対
する買物袋持参の働きかけを
さらに推進すること。

3 消費者団体や事業者のレ
ジ袋削減の取り組みに対し一
層の支援を行うこと。

〈東京都知事あて〉

の調査事項などを変更し、委
員会の名称を基本構想調査・
江古田の森整備特別委員会
に変更します。

●意見書（1件：次項に掲載）

江古田の森整備特別委員会

第1回臨時会 可決した議案

区長提出議案

●中野区特別区税条例の一部
を改正する条例

2/12 第1回定例会の招
集日の確認や日程などを協
議、陳情3件を審査

●中野区周辺・警察大学校等
跡地整備特別委員会

1/26 要求資料1件を審
査、報告4件を聴取

●江古田の森整備特別委員会

1/21 報告3件を聴取
2/13 委員会の運営につ
いて協議

●交通対策特別委員会

1/29 首都高速中央環状
新宿線東中野換気所を視察、
報告5件を聴取

平成16年度予算に 対する各会派の見解

新しい区のかたちを明確に

公明党議員団

平成16年度の一般会計予算は、総額893億9600万円で、前年度と比べ5億4500万円、0・6%の増となりました。

しかし、減税補てん債の借換などを除くと実質マインス予算となり、引き続き財政改革は重要な課題です。

こうした区財政にあっても区民サービスの後退は許されません。我が党が要望していた子ども家庭部を新設して子育て支援機能強化、児童生徒への防犯ブザーの配付、高齢者の見守り支援

区民と協働で区政に活力を

自由民主党・民社クラブ

十年先を見越して区職員を三千人体制から二千人体制へと明確に目標を決めたことは、高く評価できます。

清掃工場を持たず、他区の力を借りている区として、『こみゼロ作戦』を区民と心を一にして取り組むことと、二百人いる清掃職員の削減への取り組みは、区民を十分納得させる施策展開が求められています。

保育行政では、「ゼロ歳児保育」に一人毎月35万円以上の税金がかかっています。この現実を区民と共有して

大開発より区民の暮らしを

日本共産党議員団

小泉内閣は「構造改革」の名で、国民には負担増を押しつけ、大企業のリストアップ支援、中小企業つぶしを強行しています。区民の暮らしは危機的な状況です。

ところが、中野区は11万筆を超える陳情を無視し、区立保育園を営利企業に委託。これは、公的責任の放棄です。さらに学校給食の調理義務に加え栄養士も委託。また、図書館業務も委託。次々と民間まかせにする一方で、国保料、保育料など値上げします。

将来像を示し的確な手法を

TOKYO自民党中野区議団

16年度予算は、規模的には15年度予算に比べやや増加していますが、実質的には0・9%減少した予算となっています。歳入では一般財源の特別区税や都区財政調整交付金とも減少し、歳出においては、人件費が減少したとはいえ、生活保護費や国保会計繰出金の増加など、依然として厳しい財政状況が続いております。

こうした財政状況のなかで、区は事務事業や組織編成の見直し、民間活力の導入などにより効率的な財政

中野新時代を見ずして

民主クラブ

平成16年度予算は、事業部制による各部の歳出削減努力、改革の成果としての20億円余の人件費の削減、事業の民営化、民間委託などにより、厳しい財政状況の中からも、必要な新規事業やサービスの拡充を行う予算となりました。

新たな民間活力導入で、保育園では、延長保育、産休明け保育の拡充、待機児解消に向けての努力が見られ、図書館では開館日、開館時間の拡大が図られました。また地域の長年の懸案

また不動産に手を出すの？

無所属の会

区民の要望を受け、情緒障がい学級・知的障がい学級開設、上鷲宮地域からのバス路線新設の検討、図書購入費の増額など、行政サービスの本旨に沿う予算は評価いたします。しかし、保護者や保育士の理解が得られないままでの区立保育園の指定管理者制度の導入や、サンプラザ取得のための予算には合意できません。

特に第三セクターによるサンプラザの取得は、取得主体や経営責任の所在を曖昧にし、経営難に陥った場合

区民参加で新たな改革を

市民自治

2004年度は新たな区政を創る基本構想と10か年計画策定、自治と参加のあり方を定める自治基本条例制定、新しい公共を担うNPO等の活動を推進するしくみづくり等、重要課題が予算に組まれています。また、区民の視点による目標と成果指標を明確にし、目標に合わせた組織編成を行った初めての予算です。改革に向けた区民の取り組みを評価します。

持続可能な区政にしているために、地域センターや

区議会各会派のEメールアドレスが変わりました

公明党議員団
自由民主党・民社クラブ
日本共産党議員団
TOKYO自民党中野区議団
民主クラブの
民無所属の自治

komei.nakanokugikai@mbg.nifty.com
jimin.nakanokugikai@mbg.nifty.com
jcp.nakanokugikai@mbg.nifty.com
tjn.nakanokugikai@mbg.nifty.com
min-ku.nakanokugikai@mbg.nifty.com
mushozoku.nakanokugikai@mbg.nifty.com
siminjichi.nakanokugikai@mbg.nifty.com

陳情の 審議結果

第1回定例会における陳情の審議結果をお知らせします。
()内の数字は年です。

採 択

(15) 第36号陳情 これからの中野区立図書館の運営について

1 正規・非常勤・アルバイトなど雇用形態のいかんを問わず、図書館の仕事に習熟した職員、司書や司書補の資格を持つ職員を中野区立の各図書館に数多く配置し、図書館サービスを発展させてください。

2 図書館業務の民間委託を実施した自治体で判明している「民間委託のマイナス面」を中野区に持ちこまないよう充分に配慮してください。
3 減少した資料購入予算を回復してください。

第2回定例会のお知らせ

次回の定例会は、6月に開かれる予定です。詳しい開催日程などは、決まり次第、中野区議会ホームページの「区議会からのお知らせ」の中に掲載します。

お問い合わせは、5月27日以降に、区議会事務局(電話3228-5585)まで。

4 区民すべての徒歩生活圏に図書館が存在する地域館配置が維持できるよう尽力してください。

――全会一致

(15) 第42号陳情 「難聴・言語障害児等のための中学校通級学級の早期開設を望むこと」について

中野区の中学校に、難聴・言語障害児等のための通級学級を早期に開設できるように、設置校の決定と予算措置を講じ、必要となる教員の確保と増改築等の検討をお願いします。

――全会一致

(16) 第6号陳情 区立小中学校の統廃合に関し、大地震の際の地域防災の観点も加味した慎重な議論を求めることについて

区立小中学校の統廃合問題は、少子化による児童生徒数の減少や財政難の観点からだけでなく、大地震における地域防災の観点からも慎重に議論して決定してください。

――全会一致

(16) 第13号陳情 精神障害者の社会復帰施設について

1 区内保健福祉センターで行われている精神障害者のデイケアを、従来通り4箇所で行って下さい。
2 区内に1箇所しかない

『生活支援センター』を増設して下さい。

3 区内に1箇所しかない『グループホーム』を増設して下さい。

――全会一致

(16) 第15号陳情 中野区指定保護樹林第9号を保護し都市計画道路補助133号線の事業化を見直すことについて

2 保護樹林の保護・育成のために施策の拡充をしてください。

――全会一致

(16) 第17号陳情 地域図書館を大切にしたい区立図書館の運営について

2 図書館運営と活動を活発にし、区民意見を交換できるようにするため、区職員、区民(利用者)、委託事業者による協議の場(利用者懇談会のようなもの)を設置してください。

――賛成多数

(16) 第20号陳情 レジ袋削減に関する事業を求める意見書を提出することについて

東京都全域でレジ袋削減のための取り組みをより一層確実に推進するための事業実施を求める意見書を提出してください。

意見書提出――みなす採択

(16) 第21号陳情 今後の区立保育園の民営化・民間委託計画について、計画発表から実施まで充分な時間をとるよう求め、民間委託園の受託事業者の情報開示と、父母・中野区・事業者による三者協議会設置を求めることについて

1 今後の区立保育園の民営化・民間委託計画について、

計画発表から実施まで充分な時間をとるようにしてください。

2 民間委託園の受託事業者について、子どもを保育していたく面で重要な事項についての情報を、毎年公開してください。

3 既存保育園の民営化・民間委託園については、父母・中野区・事業者による三者協議会を設置してください。

――全会一致

不 採 択

(15) 第52号陳情 本会議等における議員の一般質問等について

――賛成少数

(15) 第53号陳情 区立保育園運営委託実施計画の撤回、ならびに非常勤保育士の全員解雇撤回を求めることについて(1項)

議案可決――みなす不採択

(15) 第53号陳情 区立保育園運営委託実施計画の撤回、ならびに非常勤保育士の全員解雇撤回を求めることについて(2・3項)

――賛成少数

(16) 第1号陳情 「指定管理者制度による区立保育園の運営委託」の延期と、延長期間中も、需要に応じた産休明け・延長保育の実施を求めることについて

――賛成少数

(16) 第2号陳情 区立宮の台保育園の「指定管理者制度による区立保育園の運営委託」の延期と、委託実施後の職員の引継ぎ期間の延長を求めることについて

議案可決――みなす不採択

(16) 第2号陳情 区立宮の台保育園の「指定管理者制度による区立保育園の運営委託」の延期と、委託実施後の職員の引継ぎ期間の延長を求めることについて

(15) 第51号陳情 パート・派遣労働者などの適正な労働条件の整備及び均等待遇を求めることについて

めることについて(1項)

議案可決――みなす不採択

(16) 第2号陳情 区立宮の台保育園の「指定管理者制度による区立保育園の運営委託」の延期と、委託実施後の職員の引継ぎ期間の延長を求めることについて(2項)

――賛成少数

(16) 第4号陳情 都市計画道路補助133号線(中杉通り)の鷺ノ宮駅以南、杉並区境までの事業化計画路線に反対することについて

――賛成少数

(16) 第12号陳情 プラスチック製容器包装回収事業の中止を求めることについて

――賛成少数

(16) 第15号陳情 中野区指定保護樹林第9号を保護し都市計画道路補助133号線の事業化を見直すことについて(1項)

――賛成少数

(16) 第17号陳情 地域図書館を大切にしたい区立図書館の運営について(1項)

――賛成少数

(15) 第38号陳情 川中湯跡地に計画されている高層分譲マンションの建設について

――賛成少数

(16) 第18号陳情 「中野区安全で安心なまちづくりを推進する条例」を制定しないことについて

――賛成少数

(16) 第47号陳情 中野区在住の私立小中学校就学者への教育費助成実現について

――賛成少数

(15) 第47号陳情は、4月1日から厚生委員会に付託変更になりました。

《総務委員会付託》

(15) 第50号陳情 臨時職員などの公正な賃金等を確保することについて

――賛成少数

(15) 第51号陳情 パート・派遣労働者などの適正な労働条件の整備及び均等待遇を求めることについて

る意見書を政府・関係省庁へ提出することについて

(16) 第8号陳情 シベリア抑留問題解決のための立法を求める意見書を提出することについて

――賛成少数

(16) 第10号陳情 中央防災会議に浜岡原発震災専門調査会の設置を求める意見書を提出することについて

――賛成少数

(16) 第11号陳情 中央防災会議に浜岡原発震災専門調査会の設置を求める意見書を提出することについて

――賛成少数

(16) 第3号陳情 安定した公的年金制度の確立等に関することについて

――賛成少数

(15) 第34号陳情 成人健診の現行制度継続を求めることについて

――賛成少数

(15) 第40号陳情 区の成人健診の現行制度継続を求めることについて

――賛成少数

(15) 第38号陳情 川中湯跡地に計画されている高層分譲マンションの建設について

――賛成少数

(15) 第49号陳情 西武新宿線野方駅のバリアフリー化を実現することについて

――賛成少数

(15) 第47号陳情 中野区在住の私立小中学校就学者への教育費助成実現について

――賛成少数

(15) 第47号陳情は、4月1日から厚生委員会に付託変更になりました。

《総務委員会付託》

(15) 第15号陳情 政務調査

費の収支報告書に領収書を添付することについて

(15) 第21号陳情 中野区議会議員の政務調査費収支報告書について

――賛成少数

(16) 第14号陳情 警察大学校等跡地の立地を生かした防災公園について

――賛成少数

(16) 第16号陳情 中野駅北口広場の存続について

――賛成少数

(16) 第19号陳情 警察大学校等跡地の開発利用計画について

――賛成少数

(16) 第7号陳情 上鷺宮・鷺宮から中野駅までミニバスを走らせることについて

――賛成少数

(16) 第7号陳情 上鷺宮・鷺宮から中野駅までミニバスを走らせることについて

――賛成少数

(16) 第7号陳情 上鷺宮・鷺宮から中野駅までミニバスを走らせることについて

――賛成少数

(16) 第7号陳情 上鷺宮・鷺宮から中野駅までミニバスを走らせることについて

――賛成少数

(16) 第7号陳情 上鷺宮・鷺宮から中野駅までミニバスを走らせることについて

――賛成少数

(16) 第7号陳情 上鷺宮・鷺宮から中野駅までミニバスを走らせることについて

――賛成少数

(16) 第7号陳情 上鷺宮・鷺宮から中野駅までミニバスを走らせることについて

結成大会では、規約の承認
役員の選任、結成宣言、今後の活動方針の承認などが行われました。

●本会議録画ビデオ
本会議を傍聴できない方のために、平成16年第1回定例会、第1回臨時会の本会議の様子を録画したビデオテープを貸し出しています。

●希望の方は、区役所1階
区政資料コーナーまで。

●声の区議会だより
目の不自由な方のために、区議会だよりを朗読録音したカセットテープ「声の区議会だより」を発行しています。

郵送により無料でお届けします。利用をご希望の方は、区議会事務局(電話3228-5585)まで。

また、地域センター、区立図書館、障害者福祉会館などで貸出もしています。

視覚障害者の方へお知らせください。

西武新宿線の踏切の渋滞解消に向け、区内全線地下化実現の促進を目的とする「西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟」の結成大会が1月28日、野方WIZで行われました。

期成同盟は、長年の課題である踏切渋滞解消を目指し、区民、区議会、区の三者による広範な運動を展開するために結成されたものです。

国、都および西武鉄道などの関係機関に対する要請活動や、区民への広報・参加呼びかけなどを行います。

西武新宿線踏切渋滞
解消促進期成同盟が
結成されました

区議会だよりへのご意見、ご要望などは、
区議会事務局まで

〒164-8501 中野区中野4-8-1
電話 3228-5585 FAX 3228-5693
Eメール kugikaijimu@city.tokyo-nakano.lg.jp